

日本
共産党

八幡市議会 報告ニュース

連絡先

| | |
|--------|----------|
| 山本邦夫市議 | 982・8844 |
| 巖博市議 | 982・9663 |
| 亀田優子市議 | 982・1277 |
| 中村正公市議 | 983・8312 |
| 澤村純子市議 | 983・6275 |

2019年8月11日 No.678 日本共産党八幡市議会議員団(983)2005

◇ 市議会メール jcp-ywta@am.wakwak.com ◇ ホームページ⇒ [JCP八幡市議会](#) で検索

2019年原水爆禁止世界大会 広島、長崎で

核兵器禁止条約発効早く

広島、長崎が被爆して74年を迎えました。原水爆禁止2019年世界大会が始まり、広島大会5～6日、長崎大会7～9日の日程で開かれています。広島市では6日、平和記念式典が開かれました。記念式典には、八幡市内の中学生の平和大使8人が参加し、市民から寄せられた平和の折り鶴を持参しました。

記念式典で、広島市の松井市長は、日本政府に「核兵器禁止条約への署名・批准を求める被爆者の思いをしっかりと受け止めていただきたい」と訴えましたが、安倍首相は核兵器禁止条約について言及しませんでした。

核兵器禁止条約が国連会議で採択されて2年がたちます。50カ国が批准すれば90日後に条約が発効しますが、すでに批准国は24カ国に広がっています。来年は、最大規



広島平和記念式典。6日
RCCテレビより

模の核軍縮交渉でもある5年に1度の核不拡散条約(NPT)再検討会議が開かれる節目の年です。今年の原水禁世界大会は、核兵器廃絶へむけた今後の展望を示す大会として、期待が集まっています。

◇◆◇

<八幡市での平和大使報告会> 9月28日(土)13時から、人権交流センター。フォトジャーナリスト・安田菜津紀さんの講演も。

平和首長会議 未加盟

八幡市など9自治体残すだけ

世界各都市が連帯し核兵器廃絶への流れを強めようと結成された「平和首長会議」。世界では8月時点で163カ国・地域の7785自治体が加盟。日本国内で99.5%にあたる1732自治体が加盟しています。未加盟は、八幡市を含め9自治体です。

八幡市議会では、くりかえし日本共産党が、1日も早い加盟を求めてきましたが、いまだに八幡市長は加盟していません。

新聞報道見て共産党に激励

3日の毎日新聞夕刊は、「市民はどうする自治体はどうする」の見出しで、「平和首長会議あと9市町村」の記事を掲載。八幡市などが未加盟であることを報道しました。

この記事を見た市民から、日本共産党山城地区委員会に電話があり、「ぜひ市議会でも追及してほしい」との激励がありました。

八幡市は、京都府下で最初に非核平和都市を宣言した自治体です。八幡市が平和首長会議に加盟するのは当たり前のことですが、市長はそうした立場に立っていない状況です。議会でも、市民運動でも、核兵器廃絶の世論を広げましょう。